

○秋季の天気（3ヶ月予報等）

平成29年8月31日現在

今年の気象の傾向は、6月までの平均気温は平年並み（+0.13℃）となっていました。7月当初から猛暑日（最高気温35℃以上）と熱帯夜（25℃以上）となり、暑い夏のスタートになりました。

その後も、猛暑日が平年より2倍多く、最低気温が連日熱帯夜となっています。そのため、平均気温が、7月28.5℃（+1.1℃）、8月29.0℃（+1.7℃程度）とかなりの高温となっています。

このように、宮崎地方で暑くなった要因は、上空を流れる気流（偏西風）が、蛇行し、ブロッキング現象が起き、蛇行により東日本に北からの寒気が入り、西日本には南から暑い空気が入ったためです。そのため、仙台市では、連続雨の日が36日と記録を更新しています。

また、東日本は猛暑の西日本とは異なり、冷夏になっています。その中で積乱雲による集中豪雨が、全国各地で発生している状況です。

8月25日に九州南部の3ヶ月長期予報が発表されましたので、解説するとともに、1ヶ月予報、台風情報も付け加えます。

1 3ヶ月予報（九州南部地方）8月25日発表

（1）気温

3ヶ月平均	20	30	50
9月	20	30	50
10月	20	40	40
11月	30	30	40

（2）降水量

3ヶ月平均	40	40	20
9月	30	40	30
10月	40	40	20
11月	40	40	20

*表の見方は、農業試験場のHP「農業気象情報⑩」でしています。

2 3ヶ月予報の解説

（1）気温は3ヶ月平均で平年よりかなり高い予想です。月ごとには9月は高い傾向、10月、11月はやや高い傾向になります。気温が高い傾向は7月以降続いており、9月までは継続することが予想されます。

10月に入ると太平洋高気圧が後退し、代わって秋の移動性高気圧が周期的に日本を通過することが予想されます。

(2) 降水量は3ヶ月平均で平年並みかやや少ない予報です。月別では、9月が平年並みの雨量、10月、11月が平年並みかやや少ない予想になります。この要因は、9月は台風の影響がある予想で、10月以降は周期的な天気変化を予想しているためです。

3 1ヶ月長期予報（8月24日発表）

この予報でも、気温が高い傾向で特に8月28日から1週間は高いと予想されています。それ以降も同じ予想でやや高いか高いになっています。

降水量は平年並みかやや多い、日照時間は平年並みかやや少ないと予想されています。前回の予報と同じ傾向となっています。

4 台風情報（今年の傾向）

8月31日12時現在、大型で強い台風16号が小笠原諸島の近海にあり停滞気味ですが、今後進路を次第に北よりに変え関東東海上から北海道東部方面に向かう予想になります。

このため、九州付近には、1日から3日かけて北からの寒気が入るため、朝夕は涼しくなってきます。

また、16号が南シナ海で発生する見込みです。この台風も直接的な影響はないのですが、台風の進路によっては、南から湿った空気が入り、また気温が上がってくる可能性があります。

5 今後の見通し

9月に入ると、残暑は厳しいものの朝夕の冷え込みがあり、次第に秋らしくなってくると予想しています。

しかし、9月は台風シーズンですので、過去の統計から今後、本県に接近又は上陸する台風が2個前後あるのではないかと予想します。

また、9月中旬からは、秋雨前線が停滞しやすくなるため、秋雨前線と台風の組み合わせでの大雨、暴風雨に警戒が必要な時期となってきます。

総合農業試験場企画情報室 村岡精二（気象予報士）